（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

平成２７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本山雅 FC×松本商工会議所「街なかにぎわい」事業
事業主体 （連絡先）	松本商工会議所 松本市中央１－２３－１
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ②文化・スポーツ振興のための交流イベントの開催や環境整備
事業タイプ	ソフト
総事業費	２，０１８，９９５円（うち支援金：１，５１４，０００円）

事 業 内 容

①「松本山雅ＦＣアウェイゲームまちなかパブリックビューイング（ＰＶ）」
松本市の中心市街地での大規模ＰＶの実施。
②街頭フラッグ掲揚事業
７月から順次、市内商店街ならびに大型店の街路灯にクラブの応援フラッグを掲揚する。
③アウェイ来場者「おもてなしキャンペーン」
アウェイサポーターを対象に中心市街地にておもてなしサービス及びアウェイグッズを身に着けた人への優待サービスならびに、アンケート回答者へ抽選でのプレゼント企画を実施。

【ＰＶ事業】

【目標・ねらい】

①アウェイサポーターの中心市街地への流入促進及び顧客化
②地元サポーターの中心市街回遊性の向上

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①アウェイ来場者「おもてなしキャンペーン」
リーグ戦５試合。天皇杯２試合対象に計７，０００名にチラシ配布。キャンペーン参加店舗５７店、２１６件のアンケート回答を得る。回答者のうち抽選で３０名に松本地域の特産品プレゼント
②「松本山雅ＦＣアウェイゲームまちなかＰＶ」
開催日　１１月２２日（日）１３：３０～１５：３０
松本山雅ＦＣ　ＶＳ横浜Ｆ・マリノス戦
開催会場　　Ｍウイング体育館　約１８０人参加
②街頭フラッグ掲揚事業
掲揚商店街等２１箇所　選手サイン入りフラッグを配布、掲揚

※自己評価【B】

【理由】
ＰＶの集客が定員に未達だったこと、アウェイ来場者おもてなしキャンペーンの効果を測定することが難しかった点。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き、松本山雅ＦＣのもたらす経済効果を、経済界として地域に波及させていく。
また、クラブと地域がＷＩＮ－ＷＩＮの関係を構築していけるように、アイデアと実践を行っていけるように、特にＪ２降格で減少が懸念されるアウェイサポーターへの働きかけと、再び観光客として訪問してもらえるような取組を続けていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある